（様式1）

# 2023年度　指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】

| 所管課 | 福祉課 |
|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施設名 | 須坂ひだまり作業所 | | |
| 所在地 | 長野県須坂市大字須坂483番地3 | | |
| 施設設置目的 | 就労することが困難な在宅の障がい者の特性に応じた作業訓練、生活援助を行い、福祉の増進を図る。 | | |
| 施設概要・設備 | 建物の構造：鉄骨平屋建て<br>敷地面積：1,120㎡　延床面積：390.30㎡<br>施設の内容：事務室、食堂、和室1、訓練室、作業室1・2、倉庫、浴室、厨房 | | |
| 建設年月 | 1995年4月 | 指定管理開始年月 | 2007年4月 |

【指定管理概要】

| | |
|---|---|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人　夢工房福祉会 |
| 指定期間 | 2021年4月　～　2026年3月 |
| 業務内容 | （1）利用契約に関する業務<br>（2）施設及び備品等の維持管理に関する業務<br>（3）作業訓練等に関する業務<br>（4）利用料の徴収に関する業務<br>（5）障害者総合支援法に基づく施設運営に関する申請業務<br>（6）前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務 |
| 職員体制 | 常勤：7名　　非常勤：4名　　合計：11名 |
| （専門職、役職等内訳） | 所長兼サービス管理責任者1、生活支援員6、職業指導員1、<br>目標工賃達成指導員1、看護師2 |

1　施設利用状況

| 項目 | 単位 | 目標値 | 実績 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 対前年比 | 対目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生活介護 | 延人数 | | 1,926 | 1,937 | 2,000 | 103.2% | |
| 就労継続支援B型 | 延人数 | | 2,524 | 2,403 | 2,507 | 104.3% | |
| 特記事項 | | | | | | | |

## 2 収支の状況

単位：千円

| 指定管理者 | | | | 市 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 科目 | 予算額 | 決算額 | | 科目 | 予算額 | 決算額 |
| 収入 | 指定管理料 | | | 収入 | 使用料・手数料 | | |
| | 使用料・手数料 | | | | | | |
| | 障がい福祉サービス等収益 | 49,022 | 49,116 | | | | |
| | 就労支援事業収益 | 7,100 | 6,206 | | | | |
| | その他 | 110 | 112 | | その他 | | |
| | 収入計 | 56,232 | 55,434 | | 収入計 | | |
| 支出 | 人件費 | 34,339 | 33,960 | 支出 | 指定管理料 | | |
| | 事業費 | 7,447 | 6,847 | | 修繕費 | | |
| | 事務費 | 2,383 | 1,921 | | 備品購入費 | | |
| | 就労支援事業費用 | 7,100 | 6,192 | | | | |
| | その他 | 0 | 0 | | | | |
| | | | | | その他 | 47 | 47 |
| | 支出計 | 51,269 | 48,920 | | 支出計 | 47 | 47 |
| 管理事業損益 （a） | | 4,963 | 6,514 | 管理事業損益 | | −47 | −47 |

| | |
|---|---|
| 損益 （a）＋（b）<br>管理事業損益＋自主事業損益 | 6,514 |

| | |
|---|---|
| 特記事項 | 障害福祉サービス利用に係る報酬（自立支援給付費）で運営が可能なため、指定管理委託料の支払いを要さない。 |

3　自主事業の実施状況

| | |
|---|---|
| 自主事業実績 | なし |

単位：千円

| 自主事業名 | 収入 | 支出 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | | | 自主事業損益（b） | |

4　利用者評価

| | |
|---|---|
| ①利用者要望の把握 | （1）利用者要望の把握方法（時期・方法・回答数等） |
| | ご利用者及びご家族と随時面談。電話及び共有ノート、支援会議などで把握 |
| | （2）調査等の結果 |
| | 昨年度に引き続き、仕事だけではなく運動活動などで身体機能の維持、向上がニーズとして挙がっている。<br>生活介護のプログラムの見直しを実施していく方針。 |
| ②利用者からの声 | （1）良好とする評価 |
| | 数名の利用者様に関しては、仕事だけではなく機能訓練や運動活動、余暇活動を取り入れ、個々に合わせたプログラムでサービスを提供している。<br>利用者様やご家族から「充実した日々を過ごせている」といった意見をいただいている。 |
| | （2）苦情・改善の要望 |
| | 私物を事業所に置き忘れて帰宅する、または上履きのまま帰宅してしまうという事案が多発している。 |
| ③対応措置 | 視覚支援を取り入れるなど、特性に配慮した対応をしていく。 |

## 5 項目別評価

| | | | 評価 | 評点 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 指定管理者の健全性 | 団体の財務状況（※営利企業のみ）や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か | ○ | 2 |
| 2 | 施設利用状況 | 施設の利用者数や稼働率は適正であるか | ◎ | 3 |
| | | 施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか | ○ | |
| 3 | 財務状況・経理 | 指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか | ○ | 2 |
| | | 収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか | ○ | |
| | | 収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外 | ○ | |
| | | 経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか | ○ | |
| | | 経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか | ○ | |
| 4 | 施設運営管理 | 協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか | ◎ | 3 |
| | | 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | ○ | |
| | | 利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか | ○ | |
| | | 施設の備品を適切に管理しているか | ○ | |
| | | 必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか | ◎ | |
| | | 協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか | ○ | |
| | | 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか | ○ | |
| | | 省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか | ○ | |
| 5 | 職員体制 | 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか | ◎ | 3 |
| | | 職員の資質・能力向上を図る取組みや研修がなされたか | ○ | |
| | | 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | ○ | |
| 6 | 利用者サービス | 利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か | ○ | 1 |
| | | 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか | ○ | |
| | | 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | ○ | |
| | | 地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか | ○ | |
| | | アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか | △ | |
| 7 | 安全対策・危機管理 | 危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか | ○ | 3 |
| | | 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | ○ | |
| | | 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか | ◎ | |
| | | 利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか | ◎ | |

| | |
|---|---|
| **合計点** | 17 点 |
| **総合評価** | A |

評点
・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
・各項目の評価がすべて○…2点
・各項目の評価に△があり、×はない…1点
・各項目の評価に×がある…0点

総合評価
A （優れている） 合計15点以上
B （適正） 合計14点
B’ （若干の改善が必要）合計11点～13点
C （さらなる努力が必要） 合計10点以下

評価基準
◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
△ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どうり実施されていない。
× … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

６　指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価
　利用者及びご家族に対する意見を、日々の連絡ノートや支援会議にて情報交換した。
　利用者の要望はアセスメントにおいても把握していた。

(2)課題
　利用者及びご家族と密にコミュニケーションは取れてはいるが、サービスの質の向上にはつながっていない。また、要望などを出すことが困難な利用者やご家族からの意見を聴けていない状況である。

(3)次年度以降の取り組み
　書面化したアンケート調査を、年に少なくとも1回実施していく。
　プログラムの見直しも含めた内容とし、ニーズを汲み取っていく。

(4)その他

７　市による総合評価

(1)今年度の取り組みに対する総合評価
(5-2-1)
生活介護、就労継続支援B型事業所とも、利用延べ人数が前年度比で増加、それにより「障害福祉サービス等収益」(自立支援給付費)及び「就労支援事業収益による収入」も増加しており順調といえる。

(5-4-5)
便座故障について市に報告あり、指定管理者、市で協議。利用者の身体状況に対応するため温水洗浄便座を設置。電気が点灯しない箇所があると市に報告あり、指定管理者、市で協議。電球をLED化することにより消費電力の削減を図った。

(5-5-1)
職員体制のうち、常勤職員１名増。利用者及び利用者家族とのコミュニケーションを密にとることができている。

(5-6-5)
昨年度に続き、運動活動等による身体機能の維持、向上の要望があるとのことから、指定管理者の自己評価にも挙げられているとおり、生活介護のプログラム見直しが求められる。年に1回以上のアンケートで得た内容を活用したプログラムの再考、個々の対応が求められる。